

製品名: TMC8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19041**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	81kDa

抗原情報

遺伝子名	TMC8
別名	TMC8; EVER2; EVIN2; Transmembrane channel-like protein 8; Epidermodysplasia verruciformis protein 2
遺伝子 ID	147138.0
SwissProt ID	Q8IU68
免疫原	抗血清はヒト TMC8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 601-650

背景

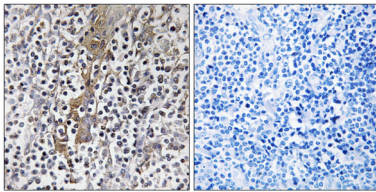
疣贅性表皮発育異常症 (EV) は、常染色体劣性遺伝性の皮膚疾患であり、ヒトパピローマウイルス (HPV) に対する異常な感受性

と、日光曝露部位の皮膚における扁平上皮癌への高率な進行を特徴とする。EVは、染色体17q25.3に位置する2つの隣接する遺伝子のいずれかの変異によって引き起こされる。これらの遺伝子はいずれも、小胞体に局在し、膜貫通チャンネルを形成すると予測される膜貫通タンパク質をコードしている。この遺伝子は、8つの膜貫通ドメインと3つのロイシンジッパーモチーフを有する膜貫通チャンネル様タンパク質をコードしている。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患：TMC8の欠陥は疣贅性表皮発育異常症（EV）の原因である[MIM:226400]。特定のヒトパピローマウイルスに対する感染感受性の異常により、皮膚癌の発症リスクが高い、まれな常染色体劣性遺伝性皮膚疾患です。感染すると、持続性の疣贅様病変または斑状病変が生じます。、オンライン情報:TMC8変異データベース、類似性:TMCファミリーに属します。、組織特異性:胎盤、前立腺、精巣で発現します。、

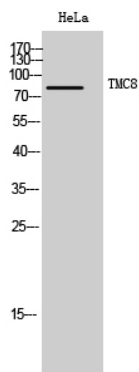
研究分野

-

画像データ



TMC8抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TMC8ポリクローナル抗体を用いたHeLa細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。